

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	商業地域という立地条件であり、夜間は不在になる環境である為、夜間の火災、災害時の近隣の協力体制に不安がある。今後も地域の協力体制を築く努力が必要である。	新たな協力体制の構築を目指すと共に、現状での夜間緊急時の対応を訓練し、対応できるようになる。	定期的に、夜間の避難マニュアルを再度読み合わせ、イメージを保ちつつ避難訓練を行う。近くに隣接する、同法人の特別養護老人ホームとの協力体制を強化する。	6ヶ月
2	4	事業所の運営報告が主になっている。マンネリ化を防ぐ工夫が必要である。	運営推進会議の中から、地域の情報を得られるようになる。	運営委員に地域の方々や民生委員に入っていたく。	6ヶ月
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。